

ボタニカルニュース ~ 牧野公園情報 ~

☎ まちづくり推進課 電話 22-7740

梅雨らしい梅雨☔

今年の梅雨入りは6/8。記事を書いている6/11 現在は毎日グズグズと降っていて、お天气的には決して嬉しいものではありませんが、それでもちゃんと梅雨らしい梅雨になっていることに安心感を覚えます^^

さてこの時期の牧野公園ではキレンゲショウマやタキユリの群生などが見頃を迎えています！雨上がりにどうぞ足を運んでみてくださいね☆



7月のお花ピックアップ♪



◀タキユリ 花:7~8月上旬
ユリ科ユリ属。
高知県では中央部に多い。
公園内ではあちこちで咲いていますよ!!

まちまるごと植物園 SNS



開花情報はこちらでチェック!!



◀マキベディアもぜひ見てね♪

振り返ってみるポール・スミザーさんのお話♪

ランドスケープデザイナーのポール・スミザーさんをご存じでしょうか^^?今から10年前、2015年4月に佐川町にお招きして講演会を開いたことがあります。その時にポールさんから聞いたお話は、時を経てやはり為になるお話なので、改めてご紹介したいと思います♪

~『植物は、自分の身は自分で守る!』~ 植物は、害虫等が来て葉をかじられると、ガスを発生させるそうです。そして、周りの仲間の植物はそのガスで近くに外敵がいることを察知し、虫が消化しづらい「タンニン」の量を体内に増やして身を守るのです!この性質を利用すれば、虫が発生する時期に、あらかじめ人間の手で葉をちぎり、植物を勘違いさせ、虫から身を守るように仕向けることもできるのです!薬品を使わない害虫予防法。是非お試しあれ^^♪



▲尺取虫

まちまるごと植物園 ~まちの植物情報~

machimarugoto syokubutsuen

梅雨時期こそ!“まちまるごと植物園ホームページ”のQRからサポーターさんの素敵なお庭の覗いてみましょう♪

お花や自然が好きでも、雨が降ると外に出るのが億劫になったり、お家でゆっくりしたくなりますよね^^そんな時こそ『まちまるごと植物園ホームページ』です!!

このホームページの中には、牧野博士や牧野公園をはじめ、色々なお花情報を掲載しています!特にその中の「ロゴプレート」の項目では、まちまるごと植物園サポーターさんの素敵なお庭をたくさん紹介しています^^綺麗なお花が見たい!でも外に出るのは億劫だなあと感じる時は、ぜひサポーターさんの素敵なお庭を、お家の中でのんびり楽しんでみてくださいね☆ QRコードの読み取り方法も紹介するので、スマホをお持ちの方はチャレンジしてみてください♪

< QRコードの読み取り方 >

- ① スマホのカメラを起動
- ② QRコードを画面中央に表示
- ③ 出てきたURLを押す

たったこれだけ!簡単です^^
※ URLの出方はスマホによって違うので、右の写真は参考まで!



▼ NO.16 川村さんのお庭



▼ NO.20 藤田さんのお庭



スマホの画面
このURLを押す

~高吾北消防本部からのお知らせ~

☎ 高吾北消防本部(署) 電話 0889-26-2111

野焼きの拡大による火災に注意しましょう!



ご存じの方も多いと思いますが今年の2月に岩手県大船渡市、3月に愛媛県今治市で大規模な山火事が発生しています。2件とも原因は野焼きの拡大等による可能性が高いとされています。ニュースを見ても分かる通り、山火事は1度燃え広がっ



てしまうとすぐ消火することができず、広範囲に被害が及ぶことがあります。管内でも今年は野焼きからの山火事が数件発生しています。

【野焼き等を行う際の注意点】

- ・乾燥注意報や強風注意報が発令されているときは行わないようにしましょう。
- ・消火器や水バケツ等、消火の準備をしてから行いましょう。
- ・火を使用しているときはその場を離れず、完全に消えたのを確認しましょう。
- ・寄せ集めて焼いたり、火が広がらないように防火帯(事前に周囲を5~10mほど草を刈取り除去し、可燃物を取り去った帯状のエリア)を設定してから火をつけましょう。

【最後に】

「今までも大丈夫だったから、大丈夫」「これぐらいの風だったら消火の準備をしなくても大丈夫」などと思わず、少しでも危ないと思ったら野焼きをする日を変えて頂きたいと思います。急に風が強くなったり、風向きが変わって飛び火することも考えられます。

我々、消防は火災が発生したら現場に向かい消火活動を行います。火災が発生せず、住民の方々が安全・安心に生活できることが1番だと思っています。火災を起こさないように予防をして、火の取扱いは十分に注意するようお願いいたします。



—ところニュース— <北海道 北見市>

放牧地でのびのび育て

~常呂町農協共立川東育成牧場で「入牧」~

5月23日、常呂町農業協同組合が常呂町農協共立川東育成牧場で、酪農家から牛を受け入れる「入牧」を開始しました。

これは、酪農家の負担軽減や牛を健康に育てることを目的に行われているもので、常呂自治区内外の17件の酪農家から約150頭の牛を10月ころまで預かります。

広大で起伏のある牧草地でゆっくりと歩き回りながら、むしゃむしゃと草をほお張る牛の光景に、関係者は「元気に育って」と願いを込め見守りました。

